

い
「四季かおる つながり 安心 活きるまち」の実現に向けて
＝着実に動き出した蓮田市＝
～子育て・教育・基盤整備を中心に～

1. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業計画について…1p
2. 東北自動車道 新蓮田サービスエリア(上り線)及びスマートICのフルインター化について…3p
3. 高虫西部地区産業団地(工業団地)の整備について…10p
4. 蓮田駅西口通線延伸工事について…12p
5. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について…12p
6. 主要地方道行田蓮田線バイパス整備事業について…13p
7. 県道蓮田杉戸線整備事業について…13p
8. 東埼玉病院周辺について…14p
9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について…14p
10. 総合市民体育館パルシー、総合文化会館ハストピア周辺道路整備事業について…15p
11. ほ場整備事業「県営」閩戸地区の概要…16p
12. シルバー人材センター事務所等新築工事について…17p
13. 保育園の建設、こども医療費の助成…18p
14. 小・中学校の状況…21p
15. 国指定史跡黒浜貝塚整備進捗状況について…22p
16. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要…25p
17. 街路灯LED化について…26p
18. 在宅医療・在宅介護事業の推進…27p
19. 山ノ神沼周辺について…28p
20. 黒浜沼周辺の整備について…28p
21. 環境学習館Ⅱ期工事について…30p
22. はなみずき作業所新築計画…31p
23. 上野東京ラインの開業について…31p
24. 蓮田市の財政状況…32p

1. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業計画について

<事業の概要>

再開発事業の3本の柱のうち駅前広場や道路は既に完成し、最後の柱、再開発ビルの建設を進めています。

再開発ビルの名称について、昨年12月から公募を行い、「プレックス蓮田」が選定されました。

再開発ビル建設については、建物の躯体工事が終了し、現在、内装工事や立体駐車場工事などを行っており、本年10月末完成に向け順調に進んでいます。プレックス蓮田内に開設する「蓮田駅西口行政センター」については、来年4月オープンに向け準備を進めています。

<再開発ビルの概要>

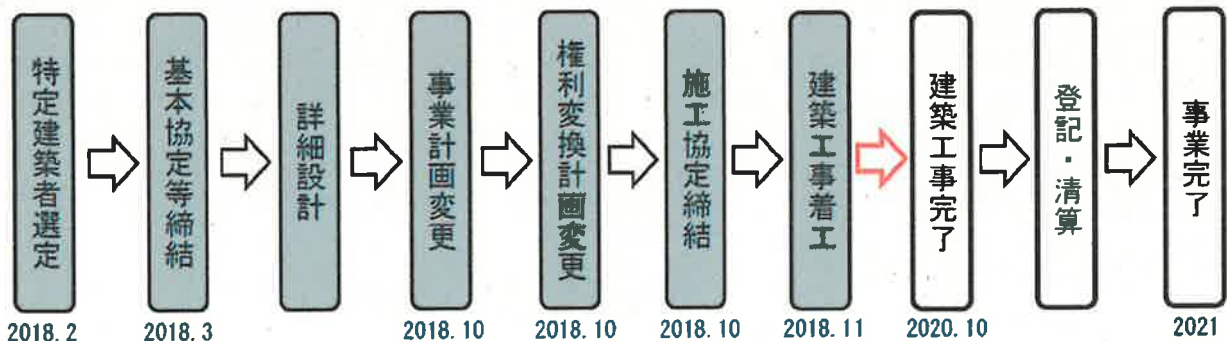
- 敷地面積 6,821.11㎡
- 建築面積 4,177.94㎡
- 延床面積 21,741.49㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 階数 地上14階
- 高さ 43.54m
- 住宅戸数 168戸
- 駐車台数 223台(自走式立体駐車場)
- 用途 住宅、診療所、店舗、
公益施設(子育て支援・行政窓口
地域包括支援センター・オープンギャラリー・
クッキングルーム・会議室等)、駐車施設



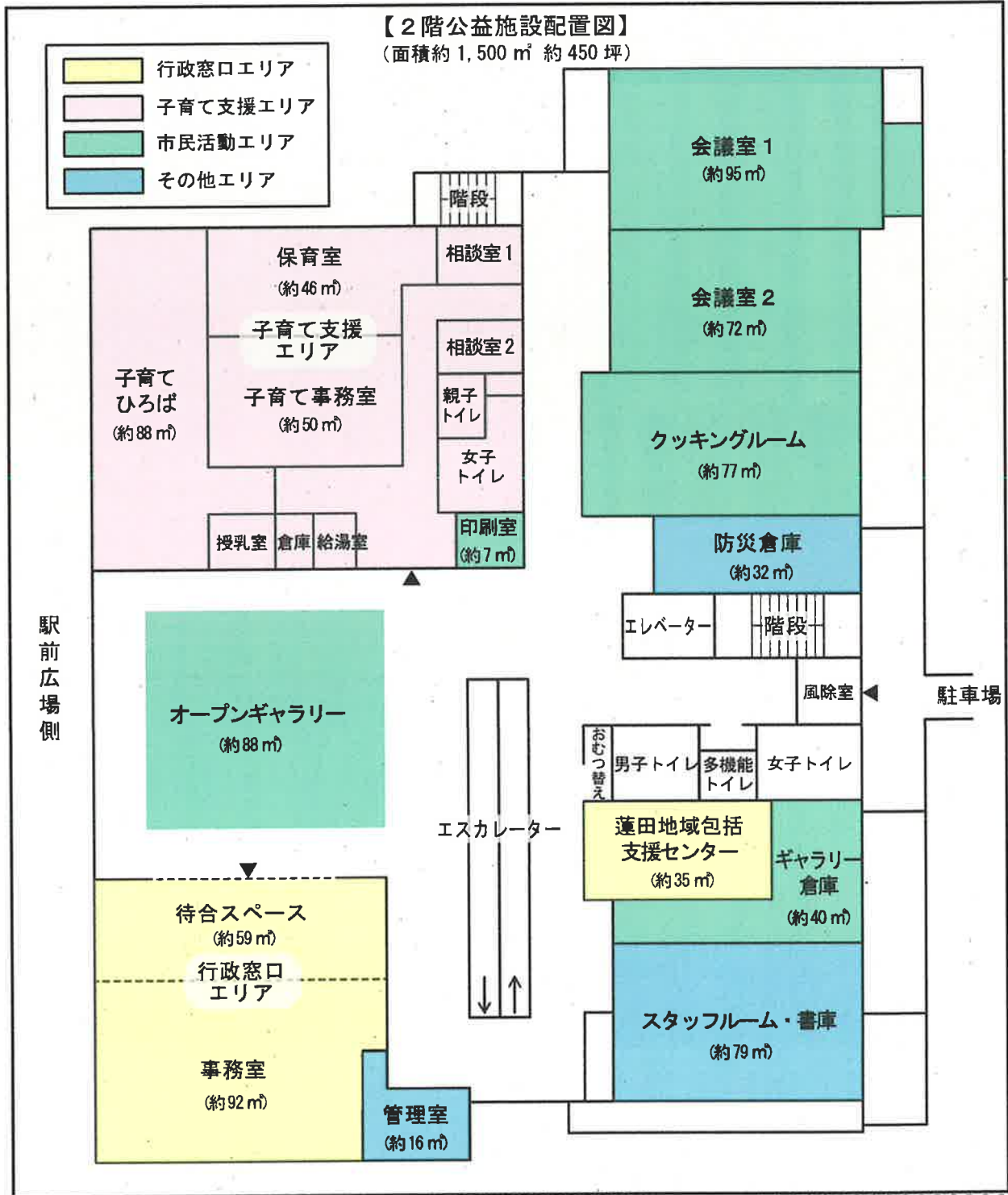
<事業の整備状況>



<スケジュール>



西口再開発ビル公益施設設計画



駅前広場側

駐車場

子育て支援エリア

妊娠から出産、子育ての窓口として、地域子育て支援拠点、保育スペース、子育て世代包括支援センター、ファミリー・サポート・センターを集約した子育て支援スペースになります。

市民活動エリア

オープンギャラリーでは、絵画や書道の展示が行えます。展示のない時は、サークルの打合せや待合せなどの利用を考えています。他にクッキングルームや会議室を設けます。

行政窓口エリア

現在、市役所駅西口連絡所で取り扱っている住民票や各種証明の交付のほか、行政サービスの充実と利便性の向上のため、窓口業務を拡充する方向で検討を進めています。

2. 東北自動車道 新蓮田サービスエリア（上り線）及びスマートICのフルインター化について

東日本高速道路株式会社、通称ネクスコ東日本が、東北自動車道 蓮田サービスエリアの慢性的な混雑の解消や利用者の利便性の向上、交通安全対策の強化などを目的として、蓮田市川島地区周辺で平成27年2月から整備を進めてきた上り線専用の新蓮田サービスエリアが、令和元年7月29日（月）にオープンしました。

新しい蓮田サービスエリア（上り線）は、これまでの蓮田サービスエリアと比較して、小型車の駐車場が2.5倍の約350台分、大型車の駐車場が4倍の約120台分が整備されました。商業施設の規模は、従来の施設の約2倍に拡張され、「Pasar（パサール）蓮田」（上り線）として営業しています。

このサービスエリアの特徴としては、一般道側から利用できる駐車場が約90台分整備され、高速道路の利用者以外のかたも商業施設を利用することができるようになっていきます。また、ヘリポートや防災倉庫をはじめとした、大規模災害における防災拠点化機能も備えています。

今後は、黒浜地区内にある上り線サービスエリア（閉鎖中）と下り線サービスエリアを2本の橋で接続し、下り線専用のサービスエリアに改築する計画となっています。



現在、蓮田スマートICは、普通車・軽自動車・自動二輪車限定で東京方面への入口と東京方面からの出口が利用できるようになっています。

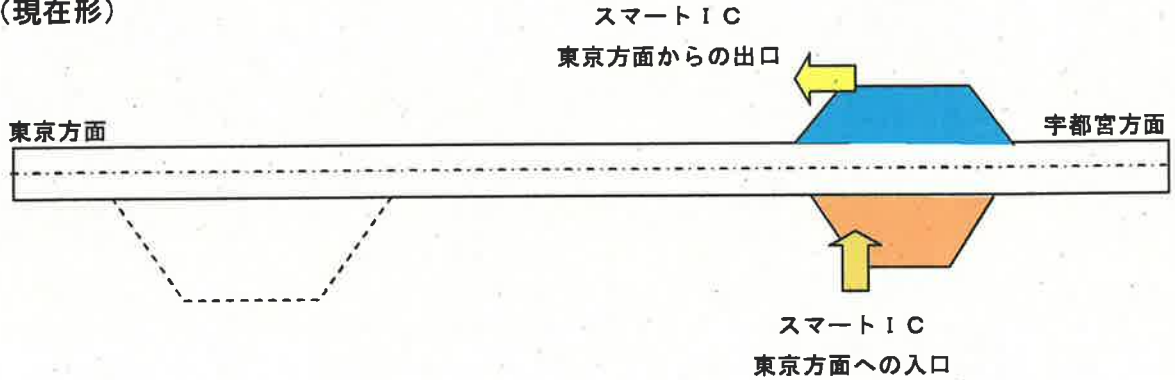
蓮田市では、ネクスコ東日本のサービスエリア改築計画に合わせ東北・宇都宮方面への入口と出口の設置と利用車種を大型車へと拡大するフルインター化の検討を国、県、ネクスコ東日本、警察などの関係機関と進めてきました。

その結果、令和元年9月20日には、蓮田サービスエリアのフルインター化について国土交通大臣から連結許可がなされました。

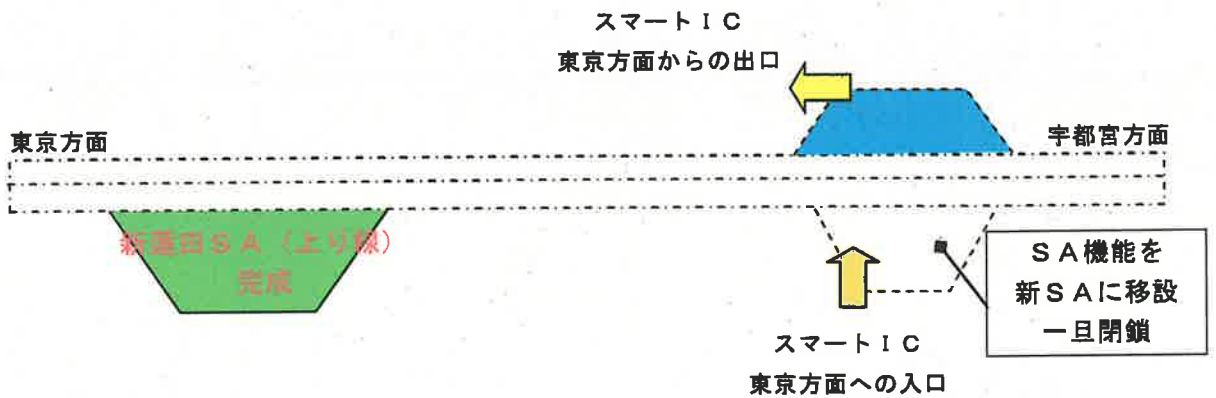
今後は、引き続き国、県、ネクスコ東日本、さいたま市、白岡市などの関係機関、地権者や市民の皆様のご理解、ご協力を得ながら、フルインター化に向け整備を進めてまいります。

蓮田SA（改築計画）・スマートIC整備（フル化計画）について

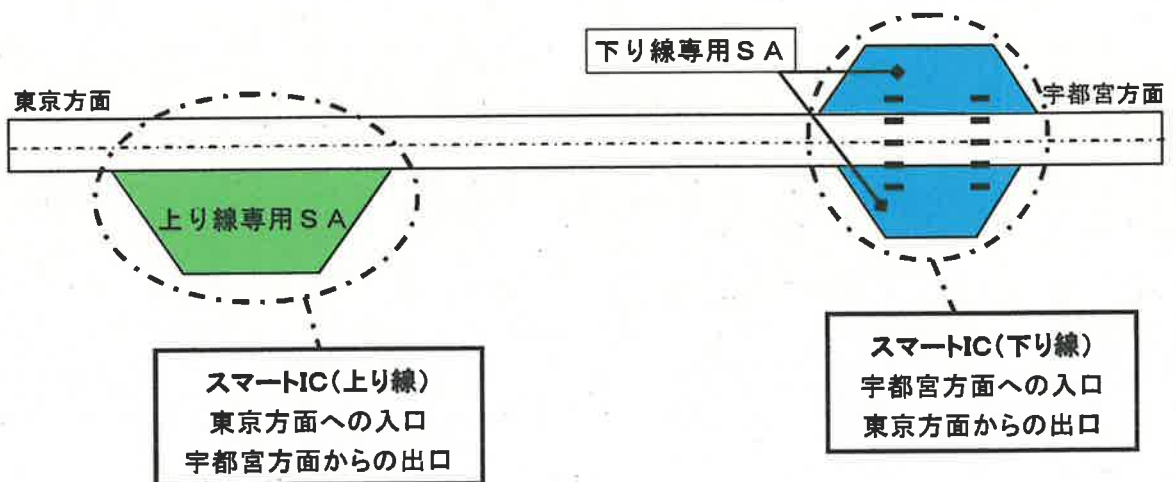
①蓮田SA改築前
（現在形）



②蓮田SA（上り線）完成 **（現在）**



③蓮田SA改築完了
（スマートIC完成〈最終形〉）





令和元年6月26日
東日本高速道路株式会社
ネクセリア東日本株式会社

E4 東北自動車道 蓮田サービスエリア(上り線)が 令和元年7月29日(月)13時にオープン ～ NEXCO東日本最大級のサービスエリア誕生 ～

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、令和元年7月29日(月)13時にNEXCO東日本最大級となる蓮田サービスエリア(以下「SA」)上り線(埼玉県蓮田市)をオープンします。

当SAは、埼玉県内の **E4** 東北自動車道 岩槻インターチェンジ(以下「IC」)～久喜IC間にある現在の位置から東京方面に約2.5km移転します。

新たな蓮田SA(上り線)は、現在のSAと比べて駐車マスを約3倍、商業施設の規模を約2倍と大きく拡張します。商業施設は、「Pasar(パサール)蓮田」(上り線)として開業します。

「Pasar」は、話題の店舗やその場でしか味わえないグルメなどを取りそろえ、お客さまにバラエティ豊かなサービスを提供する当社のフラッグシップとなる商業施設です。「Pasar蓮田」(上り線)は、7カ所目の「Pasar」となります。

「Pasar蓮田」(上り線)では、高速道路初登場となる店舗やSA・PA初の青果・精肉・鮮魚で構成する生鮮ゾーン「旬撰市場」など、幅広いラインナップで、高速道路をご利用されるお客さまにも、近隣地域からご利用されるお客さまにも、食事や買い物を楽しんでいただけます。

工事期間中は、近隣の皆さまにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



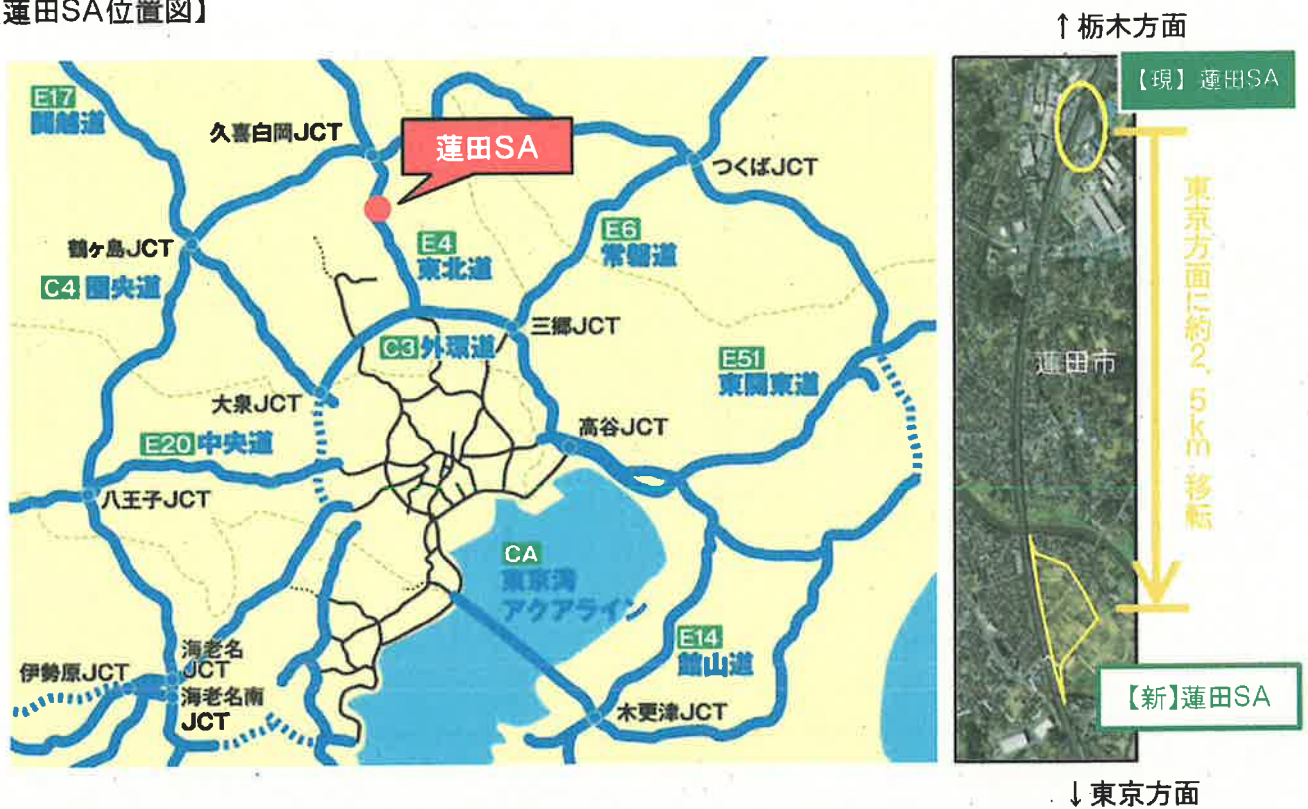
【NEXCO東日本ホームページより】

【施設概要】

- ・大型車駐車マス数を約4倍、小型車駐車マス数を約2.5倍に拡張します。
- ・商業施設の規模を約2倍に拡張します。

		新施設	現施設
所在地		埼玉県蓮田市川島	埼玉県蓮田市黒浜
駐車場		大型車 127 台(バス優先 20 台) 小型車 352 台 トレーラー 5 台 身障者マス 7 台(小 6 台、大 1 台)	大型車 31 台(バス優先 0 台) 小型車 139 台 トレーラー 0 台 身障者マス 3 台(小型車 3 台)
トイレ		<大型車駐車場側トイレ> 男性：小 16 基・大 13 基 女性：46 基 <小型車駐車場側トイレ> 男性：小 16 基・大 12 基 女性：53 基	男性：小 16 基・大 6 基 女性：27 基
商業施設	敷地面積	約 13,800 m ²	約 3,800 m ²
	建築面積	約 3,580 m ² (別棟含む)	約 1,540 m ²
	建物概要	鉄骨造平屋建て	鉄筋コンクリート造2階建て
	フードコート座席数	約 330 席	約 150 席
	ベビーケアルーム	オムツ替え台 3 台 着替え台 2 台 授乳室 2 部屋 シンク 1カ所 調乳器 1台	オムツ替え台 2 台 授乳室 1 部屋 シンク 1カ所 調乳器 1台
	その他	一般道側からご利用可能な駐車場 約 90 台を整備	—
給油施設	敷地面積	約 1,700 m ²	約 1,050 m ²
	その他	24 時間フルサービス	24 時間フルサービス
電気自動車用専用急速充電設備		1 台	1 台 ※新施設への急速充電設備の移設 工事を行うため、下記の日時にお いて利用を休止します。 【休止日時】 令和元年 7 月 16 日(火)10 時～ 令和元年 7 月 29 日(月)13 時まで
防災拠点機能		<主な施設> 共同災害対策室(フードコート活用) 自家発電設備 緊急開口部 ヘリポート など (詳細は別紙②参照)	—
現施設の閉鎖日時		—	令和元年 7 月 29 日(月)夜間に閉鎖 予定。(雨天の場合は、順延) ※給油施設は下記の日時をもちまして 営業を終了します。 【給油施設 営業終了日時】 令和元年 7 月 29 日(月)13 時

【蓮田SA位置図】



- ※1 蓮田スマートICについては、上下線の出入り口設置(フル化)に向けた準備調査を行っています。
- ※2 蓮田SA(下り線)及び現在の蓮田スマートICは、移設しません。
- ※3 現施設の閉鎖に併せ、本線の現施設案内標識の撤去工事を行います。新施設開業から撤去工事完了までの間、現施設の案内標識が本線に残りますので、ご利用の際はご注意ください。

What's 「Pasar」(パサール)

「パーキングエリア」の“PA”、「サービスエリア」の“SA”、リラクゼーション(Relaxation)の“R”を組み合わせたものであり、また、インドネシア語で「市場」を意味します。SA・PAの新しい形として、「旅の途中に立寄ってほっと一息つける場所」、「旅の途中で楽しく過ごせるにぎわいの場」をお客さまに提案していきたいとの思いを込めています。

【これまでにオープンしたPasar】

- ・平成20年 3月20日 京葉道路 Pasar幕張(下り線)
- ・平成20年 7月30日 京葉道路 Pasar幕張(上り線)
- ・平成21年11月18日 東北自動車道 Pasar羽生(下り線)
- ・平成22年12月 1日 関越自動車道 Pasar三芳(上り線)
- ・平成26年 3月19日 常磐自動車道 Pasar守谷(上り線)
- ・平成27年 7月 1日 常磐自動車道 Pasar守谷(下り線)



東北自動車道 蓮田SA(上り線)防災拠点の概要

東日本大震災発災時に高速道路の休憩施設は、自衛隊や消防、医療機関などが被災地に向かう拠点として活用されました。その経験と課題を踏まえ、緊急出動機関などとともに休憩施設に必要な機能や活用方法を検討し、休憩施設の防災拠点化に着手しました。

防災拠点化した高速道路の休憩施設は、首都直下地震などの大規模な広域災害が発生した際に自衛隊や消防、医療機関など緊急出動機関の前線基地として場所(エリア)を提供し、被災地支援の進出拠点としての役割を担います。また、被災地の救援・救護活動を効果的に行うために緊急出動機関が情報共有する場所としても活用します。

そのため、商業施設建物の耐震性を強化し、フードコートの一部スペースには、電源や Wi-Fi を備えた共同災害対策室として各機関が進出拠点の指揮所などに活用できる設備を整えているほか、停電・断水対策として自家発電設備・井戸を整備しています。このほか、一般道への出入りを可能とする緊急開口部やヘリポートを整備して緊急出動機関の活動を支援します。

(主な防災機能)

設 備	内 容
共同災害対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急出動機関の指揮所や各出動機関間の情報連携などに活用 (平時はフードコートとして使用) ・建物の耐震性は大規模地震発生後においても継続して使用可能な耐震性を確保 ・停電時にも使用可能な電源や通信用 Wi-Fi を完備
自家発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・停電時に照明、トイレ機能などの電源を確保 (連続運転可能時間:72 時間)
井戸	<ul style="list-style-type: none"> ・断水時にトイレの洗浄水として使用
防災倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・規制材や飲料水などを備蓄
緊急開口部	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両の出入り口を確保
ヘリポート	<ul style="list-style-type: none"> ・中型機の離着陸が可能(夜間照明設備有)

NEXCO東日本では、休憩施設の防災拠点の整備とともに、関係機関との検討会や防災訓練などを重ね、災害発生時における対応能力の向上に努めてまいります。

○蓮田SA(上り線)防災拠点の防災機能



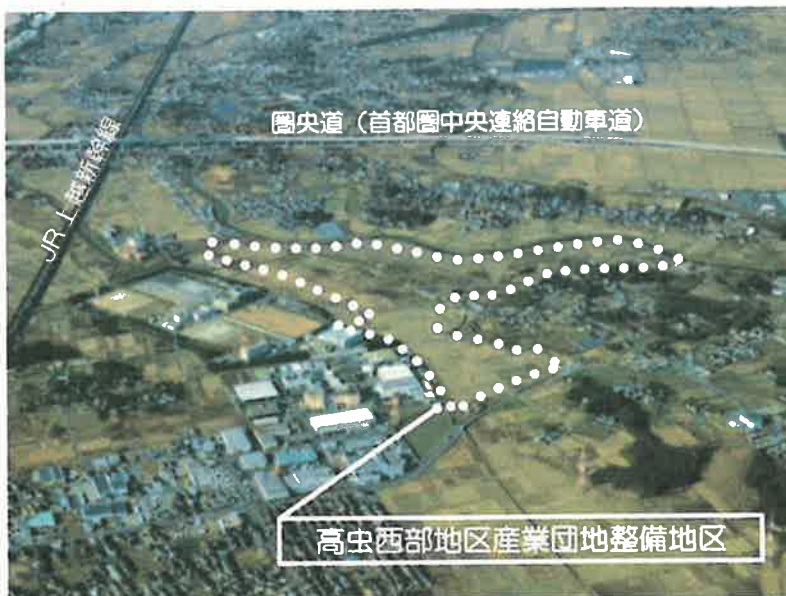
○フードコートを活用した共同災害対策室の活用イメージ(守谷SAでの防災拠点訓練)



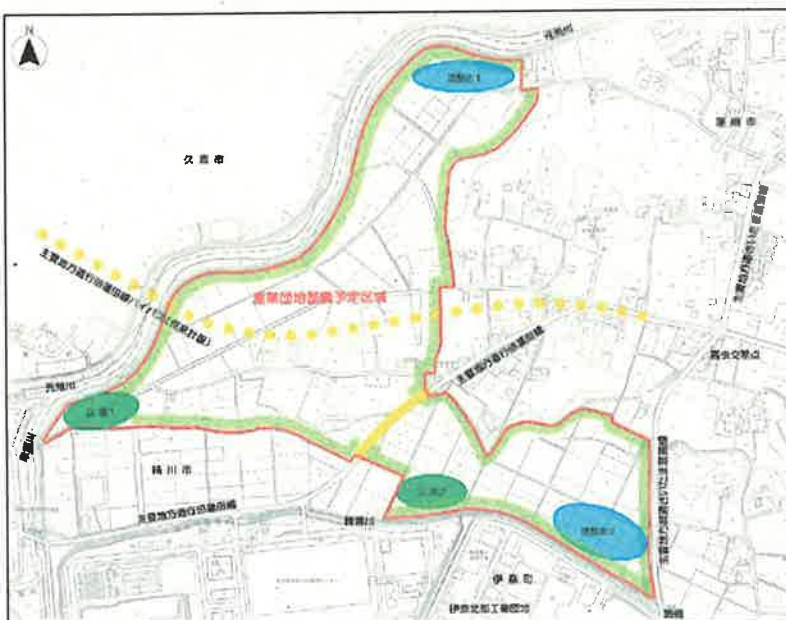
3. 高虫西部地区産業団地（工業団地）の整備について

高虫西部地区産業団地の概要と経緯

- 高虫西部地区は、蓮田市第4次総合振興計画（平成19年12月）の土地利用構想において、産業の拠点づくりを検討する市内5箇所の候補地区の1つと位置づけられました。現在、蓮田市第5次総合振興計画（平成30年3月）においても産業集積拠点内の工業・流通業務系ゾーンとして位置づけられています。また、蓮田市都市計画マスタープラン改定版（平成27年10月）においても、工業・流通業務系ゾーンとなるなど、市が産業団地の整備を最優先で進めている地区です。
- 圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の開通と延伸による地理的優位性を生かし、産業集積及び雇用創出による活性化が図られます。地元の合意もいただきました。土地区画整理事業により基盤整備し、市街化区域への編入を目指し総面積約26ha（※下図）を整備区域として確定しました。



高虫西部地区周辺を南側から北方向に撮影
（写真提供：蓮田市）



高虫西部地区産業団地土地利用イメージ図
※案であり確定図ではありません。
（作成：蓮田市 都市整備部 産業団地整備課）

高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会

- 地元において、平成25年10月29日に高虫土地利用推進協議会が設立され、関係権利者への説明会の開催や定期的な会報の発刊を行い、産業団地整備事業への合意形成を進めました。協議会の役員による勉強会や先進地への視察を通し、事業手法等についても理解を深めました。
- 以上を受けて市と協議会の協力のもと、高虫西部地区産業団地の整備事業として、有力な事業手法となる土地区画整理事業に対応するため、関係権利者の同意をいただき、平成30年10月14日に高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会が設立されました。10月29日には準備会から市長に設立の報告及び技術援助の申請がありました。

蓮田市が進めている整備事業への取り組み

- 市では、平成29年4月に都市整備部産業団地整備課を新設し、基本計画の作成、都市計画と農林漁業の調整措置に関する資料作成、埋蔵文化財包蔵地の試掘調査、地形及び地区界の測量業務及び環境影響評価の調査計画書作成など、整備事業の着手に向けた準備を進めています。
- 高虫西部地区産業団地の整備を推進するため、主要地方道行田・蓮田線バイパスの整備事業に関する市への事業受諾に係る覚書の締結や、県の田園都市産業ゾーン基本方針に基づく誘導・支援エリアとしての位置づけなど、県関係課からの合意と支援のもと、事業を進めています。
- 高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会と協力のもと、産業団地の整備事業に参画いただく業務代行予定者(エム・ケー株式会社 本社所在地:東京都日野市大坂上1丁目30番地28MKビル)を令和元年11月に選定し、土地区画整理事業の認可取得に向けて課題整理を行っています。

4. 蓮田駅西口通線延伸工事について

・都市計画道路蓮田駅西口通線

整備延長：約430m（未整備区間）

道路区分：4種2級 計画交通量：7,400～9,500台

設計速度：40km/h

道路幅員：16m（交差点部は18m） 歩道幅員：3.5m

現 状：平成30年度に事業認可取得のための説明会を開催（平成31年3月1日）
事業認可取得に向けての資料作成中

今後の予定：事業認可取得後、地権者交渉の準備を進める予定

5. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について

- ・蓮田駅東口周辺地区の歩行者の安全の確保や中心商業地としての賑わいを創出するため、県道蓮田鴻巣線の第一岩槻踏切から、蓮田駅東口黒浜線の交差点まで約195mの区間の両側に2.5mの歩道を整備し、全幅員12mとする。

現 状：①平成30年4月2日に、埼玉県杉戸県土整備事務所と蓮田市で「一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業の事務委託に関する基本協定書」を締結
②令和2年5月1日に、埼玉県と蓮田市で「令和2年度一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業委託契約書」を締結し、歩道整備事業に必要な土地の取得及び物件の移転並びに登記に関する業務を蓮田市が受託

今後の予定：①蓮田市が用地買収、物件補償等を行い、歩道用地を確保

②街区単位を基本に、歩道を整備

③概ね10年間で完成することを目標に整備

※令和2年3月31日現在進捗率

買収予定面積 約760㎡中 買収済面積 約20㎡（約2.6%）

6. 主要地方道行田蓮田線バイパス整備事業について

高虫西部地区産業団地の整備効果を高めながら、周辺交通の安全確保を図るため、主要地方道行田蓮田線バイパスの計画区間のうち、高虫交差点から産業団地整備区域界までの区間の事業化を推進する。

整備延長：約260m（蓮田市が整備事業を受託する区間）

道路種級：3種2級

設計速度：50km/h

道路幅員：15m

現況：令和元年12月23日、埼玉県と蓮田市で「高虫西部地区産業団地（工業団地）の開発に伴う主要地方道行田蓮田線バイパスの整備に関する覚書」を締結

進め方：産業団地整備の協議進捗を踏まえ、埼玉県が整備予算を措置し、蓮田市が整備事業を受託する。

7. 県道蓮田杉戸線整備事業について

現在、埼玉県杉戸県土整備事務所が主体となり、蓮田駅東口駅前広場入口の交差点から、黒浜小学校付近の県道蓮田杉戸線に至るまで、新設道路整備事業を進めている。

整備延長：約580m

（全体計画 約1,940m 整備済み区間 約1,360m）

道路区分：4種2級

設計速度：40km/h

道路幅員：14m

車道幅員：7m

歩道幅員：3.5m

現状：埼玉県が、藤ノ木坂交差点から未整備区間の用地買収を進めており、現在の取得率は8割強。

今後の予定：継続して用地買収を進めていく予定。

8. 東埼玉病院周辺について

・市道1463号線等整備事業

現在、県道蓮田杉戸線から東埼玉病院敷地内を通り、蓮田松韻高等学校へ抜ける新設道路の整備事業を進めています。

整備延長：約720m

道路区分：3種4級

設計速度：40km/h

道路幅員：12m

車道幅員：7m

歩道幅員：2.5m

現 状：平成30年度より東埼玉病院敷地内の新設道路（市道1472号線）の工事を開始。令和元年度までに約300メートルの築造工事が完成した。

今後の予定：令和2年度以降は、施工箇所の設計・協議・道路築造工事を継続して進める予定

平成29年度に黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画を策定し、黒浜公園の再整備を行うとともに、東埼玉病院敷地の一部と財務省所有地、黒浜日野手緑地を含めた大規模な公園の整備を予定しております。現在、計画の実現に向け、財務省および東埼玉病院との土地利用計画を含めた協議を進めております。

9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について

現在、蓮田松韻高校へのアクセスは、朝日バスの東埼玉病院バス停が最寄りとなっています。東埼玉病院行きのバスは、蓮田駅東口から平日は59本、休日は52本運行されており、蓮田松韻高校の生徒にも多く利用されています。しかし、東埼玉病院バス停から蓮田松韻高校までは、徒歩で約8分かかります。

平成28年7月21日には、蓮田松韻高校から、バス路線の延伸、新たな道路整備、夜間照明の増設を求める要望書をいただきました。

これを受け、市では現在、東埼玉病院敷地内に新設道路（市道1472号線）の整備を進めています。また、黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画において、バス転回場の整備も計画しています。今後は、道路整備の進捗を見ながら、朝日自動車（株）と蓮田松韻高校までのバス路線延伸に向けた協議を進めていきます。

10. 総合市民体育館/パルシー、総合文化会館/ハストピア周辺道路整備事業について

市民体育館（パルシー）、文化会館（ハストピア）周辺道路整備事業は、施設へのアクセス向上を図ることを目的として、都市再生整備計画（蓮田市閨戸貝塚周辺地区）に位置づけ、市道16号線、市道48号線、市道489号線の道路整備を進めている。

・市道16号線

整備延長：約350m

道路幅員：約8.7m

車道幅員：約6.8m

歩道幅員：約1.5m（南側のみの片側歩道）

現 状：令和2年3月に道路整備完了

・市道48号線

整備延長：約980m

道路幅員：約8.5～12.2m

車道幅員：約5.3～8.4m

歩道幅員：約2.1～6.2m（片側歩道）

現 状：平成28年10月に道路整備完了（元荒川～東北新幹線）

平成30年 5月に道路整備完了（東北新幹線～市道16号線）

・市道489号線

整備延長：約150m

道路幅員：14m

車道幅員：9m

歩道幅員：2m～2.5m（両側歩道）

現 状：平成28年10月に道路整備完了

1.1. ほ場整備事業「県営」閩戸地区の概要

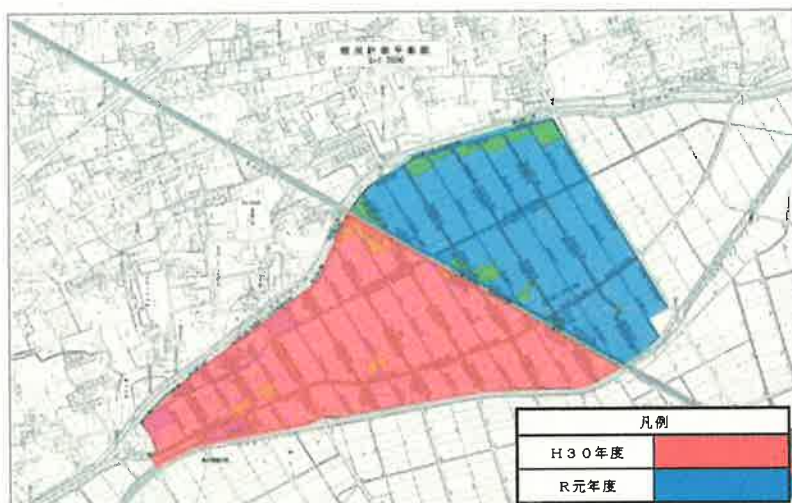
【事業の目的】

本地区は蓮田市の中西部に位置し、西側を一級河川綾瀬川と東側を見沼代用水に囲まれた地区面積38.6haの水田地帯である。

地区内の農地は昭和8年～11年に耕地整理により10a区画に整備されたが、現在の農業機械では区画や道路が狭く、ほ場内の用排水路の大半は用排分離されているものの土水路で、用水の適正な配分や排水の流出に支障を来している状況にある。また、農業者の高齢化や後継者不足に伴い、農地の維持保全が困難な状況となっている。

そのため、地域の将来像を描いた営農ビジョンにもとづき、農地中間管理事業と連携を図りながら、担い手への農地集積に必要な基盤整備を迅速に行う埼玉型ほ場整備事業を実施し、農業競争力の強化を図っていく。

【現況営農写真】



【事業の概要】

事業名：ほ場整備事業（埼玉型）

受益面積：34.0ha(水田：32.0ha 畑：2.0ha)

総事業費：370,700千円（事務費抜き）工事雑費4,200千円、事務費18,500千円

事業期間：平成29年度～令和2年度

負担区分：国50%、県27.5%、市22.5%、地元0%*

全体事業量：ほ場整備工 A=38.5ha、農業用排水施設 L=10.5km、農作業道 L=4.2km

令和元年度：ほ場整備工 A=21.1ha 156,000千円

進捗率：100%(令和2年5月29日 工事完了)

【関係市町及び土地改良組合】

- ・蓮田市
- ・閩戸土地改良組合

【事業の実施状況】

総事業費	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (R元年度からの繰越)
ほ場整備工 A=38.5ha	実施設計、 用地測量等	ほ場整備工 A=21.3ha	ほ場整備工 A=14.2ha	ほ場整備工 A=6.9ha
370,700千円	79,700千円	135,000千円	88,983千円	67,017千円
進捗率(累計)	21.4%	57.9%	81.9%	100.0%

※地元負担0%について …… 道路、用排水路の用地を所有者が寄付採納し、12.5%の地元の負担分は市が負担する形で事業を行った。

12. シルバー人材センター事務所等新築工事について

【建設に至る経緯】

- シルバー人材センターの旧事務所は、関山3丁目にある旧福祉事務所を使用していたが、耐震基準を満たしていないため建て替えが必要となった。
- 関係各課で構成する庁内検討会議を設置し、移転を含め、場所の選定等の検討を行い、市役所庁舎西側敷地への移転に決定した。
- この検討会議において、建築における基本計画を作成。庁舎敷地内であるため、市役所会議室および倉庫棟併用の建物とすることと同所における駐車場整備を行うことの基本計画となった。

【シルバー人材センター事務所等新築工事の概要】

- 平成30年度の事業として同所の樹木伐採及び文化財発掘調査を実施した。
また、建物の実施設計を行った。
- 令和元年5月に入札を執行し、工事を開始した。
令和2年3月に工事が完了し、引き渡された。
- 駐車場整備による駐車台数は、来客駐車場を含め47台を整備した。

【建物の概要】

＜建築費＞

建築 318,890,000円

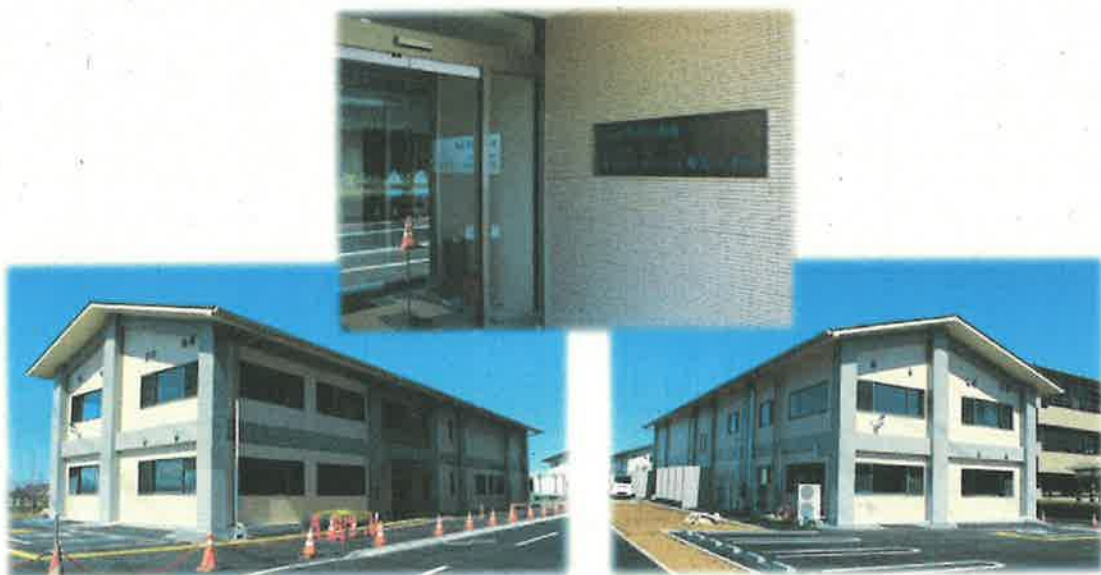
機械 41,052,000円

電気 29,568,000円

鉄筋コンクリート造、2階建て、切妻屋根、エレベーター完備

建築延床面積 合計約783㎡（シルバー人材センター事務所部分約270㎡、市役所会議室及び書庫等倉庫部分約320㎡、共有部分約193㎡）

建物の名称は、「蓮田市役所 西棟」に決定した。



13. 保育園の建設、こども医療費の助成

市では、保育園の待機児童の解消を図るため、公立保育園の新設や改築について計画的に取り組むとともに、民間活力を活用し、学校法人や社会福祉法人が行う保育園の整備費の一部や開園後の施設の運営費に対し補助金を交付しています。

また、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、中学校修了までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金を助成しています。

※認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育園の両方の良さをあわせ持つ施設です。

保育園の建設

① 蓬田ねがやど保育園

- 所在地 蓬田 4-79
- 建物概要
1階建、延床面積 627.70㎡
- 定員 90名
- 開園 平成22年5月1日



② 認定こども園しらゆり

- 運営主体 学校法人 慶和学園
- 所在地 御前橋 1-5-5
- 建物概要
3階建、延床面積 1490.79㎡
- 定員
幼稚園 60名
保育園 90名
- 開園 平成26年4月1日



③ 花星保育園

- 運営主体 社会福祉法人 希空^{のあ}
- 所在地 関戸 2796
- 建物概要
2階建、延床面積 644.50㎡
- 定員 78名
- 開園 平成28年4月1日



④ 蓮田みぬま保育園

●所在地 見沼町 4-3

●建物概要

2階建、延床面積 756.00㎡

●定員 80名

●開園 平成28年10月11日

※中央保育園の改築中は代替園舎として利用し、平成30年4月から新園として開園しました。



⑤ 中央保育園

●所在地 上2-11-2

●建物概要

2階建、延床面積 766.00㎡

●定員 90名

●開園 平成30年4月1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターも整備しました。



⑥ 東保育園

●所在地 東5-8-32

●建物概要

【保育室棟】

2階建、延床面積 446.40㎡

保育室(0~5歳児)、一時保育室

【事務室棟】

2階建、延床面積 75.61㎡

●定員 65名

●開園 平成31年4月1日

※保育室のほか、一時保育室も整備しました。



⑦ とねの会はずだ保育園

●運営主体 社会福祉法人とねの会

●所在地 蓮田3-141

●建物概要

2階建、延床面積 約788㎡

●定員 72名

●開園 令和2年4月1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターを併設。



こども医療費の助成

- 対 象 中学校修了までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金
(高額療養費等他の制度から支給されるものを除く)
- 事 業 費 199,965千円
うち、県費26,150千円(就学前児童分のみ)
- 制度改正 平成26年4月より現在の対象に拡大した。
令和3年1月から、こどもの対象を満18歳に達する日以後の
最初の3月31日までにある者に拡大する。(予定)

14. 小・中学校の状況(学力、学校施設耐震化、普通教室にエアコン設置)

蓮田市の小・中学生の学力は県内上位

○令和元年度の全国学力・学習状況調査

今年度から、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。小学校6年生の国語・算数、中学校3年生の国語・数学は全国の平均を上回り、中学校3年生の英語は全国の平均とほぼ同じでした。

○令和元年度の埼玉県学力・学習状況調査

小学校4年生から6年生の国語、算数、中学校全学年の国語、数学、英語のすべてで県の平均を上回りました。特に、小学校5年生の国語、小学校5・6年生の算数、中学校1・2年生の数学は、県の平均を大きく上回っていました。

小・中学校校舎等耐震化について

学校施設の耐震化を最優先に取り組み、平成27年度にすべて完了しました。

●整備棟数 小・中学校合計 33棟

小学校21棟(校舎13棟・体育館5棟・給食棟3棟)[平成12～27年度]

中学校12棟(校舎8棟・体育館4棟)[平成19～26年度]

●事業費 小学校 1,413,636千円

中学校 1,137,497千円 合計2,551,133千円

小・中学校普通教室にエアコン設置

小・中学校の普通教室にリース方式でエアコンを設置し、児童生徒の快適な学習環境を整え、平成29年6月から全校一斉稼働しました。

●設置教室数: 180教室(小学校8校 120教室 中学校5校 60教室)

●空調設備借上料 令和2年度予算 39,788千円

(小学校 26,918千円 中学校 12,870千円)

リース期間10年間 平成29年6月から令和9年5月まで

〈参考〉契約金額: 397,872千円



室内機



室外機

15. 国指定史跡黒浜貝塚整備進捗状況について

黒浜貝塚は学事史上著名であり、南関東の自然環境の変遷や当時の生業を考える上で重要であるとともに、集落の構造は、中期以降顕著となる環状集落の萌芽とも見られ、集落の変遷を考える上でも貴重であるとして、平成18年に国史跡に指定された。

また、関東地方を中心とした約5,500年前の縄文時代前期中葉「黒浜式土器」の標式遺跡として著名な遺跡のひとつである。

黒浜貝塚は市街化区域に立地し、蓮田市役所南側に隣接した豊かな自然を残した場所で、史跡として指定された面積は、50,183.49㎡、市役所を一体とした総面積は約74,000㎡。この遺跡は、縄文時代の集落として窪地状広場の造成、貝採集のための硬砂層の利用等、縄文人の具体的な行動様式などを知ることができる貴重な歴史遺産として存在している。

黒浜貝塚は市役所に隣接することから、貴重な歴史遺産、自然環境学習の場として活用するだけでなく、ウォーキングや自然散策の場として市民憩いの健康づくりゾーンともなる。また、市役所と一体として活用することにより、市民協働の拠点など多方面にわたる様々な活動の場所となると考えられる。

【現状】

- 平成27年度には、椿山のムラの竹林の伐採、縄文の森の復元、住居の表示、園路の造成が完了。
- 平成28年度には、椿山のムラと宿浦のムラを連絡する擬木橋の設置、水辺の生活の場エリアの浚渫と水の流れの確保、樹木の植栽が完了。
- 平成29年度には、低地の生活の場エリアの一部と縄文の海エリアの工事が完了。
- 平成30年度には、宿浦のムラの造成、低地の生活の場エリアの園路路盤造成等が完了。
- 令和元年度には、トイレ建築、案内・解説板の設置、展示館内ガイダンスシステムの構築が完了。

【今後の進め方】

- 引き続き、文化庁および埼玉県と協議を進め、早期完成を目指し取り組んでいく。

国指定史跡黒塚貝塚整備事業計画(案)

縄文黒浜、渚と森の記憶 整備計画 (案)



平成27年市民植樹風景
(2015.10.10)

※整備途中での整備状況公開、市民植樹を各年度実施予定です

4号住居跡から発見された貝塚



※将来的に3D写真などに活用する予定です



文化財展示館

※縄文人が活動するイメージ画像や縄文海連の3D画像は、文化財展示館で貸出を行う予定です

- 凡例
- ★ ARポイント
 - ▲ 出入口
 - 遊歩道(舗装园路)
 - 自然歩道(未舗装园路)
 - 既存樹木
 - 新植樹木



整備前の樽山のムラ(竹林)

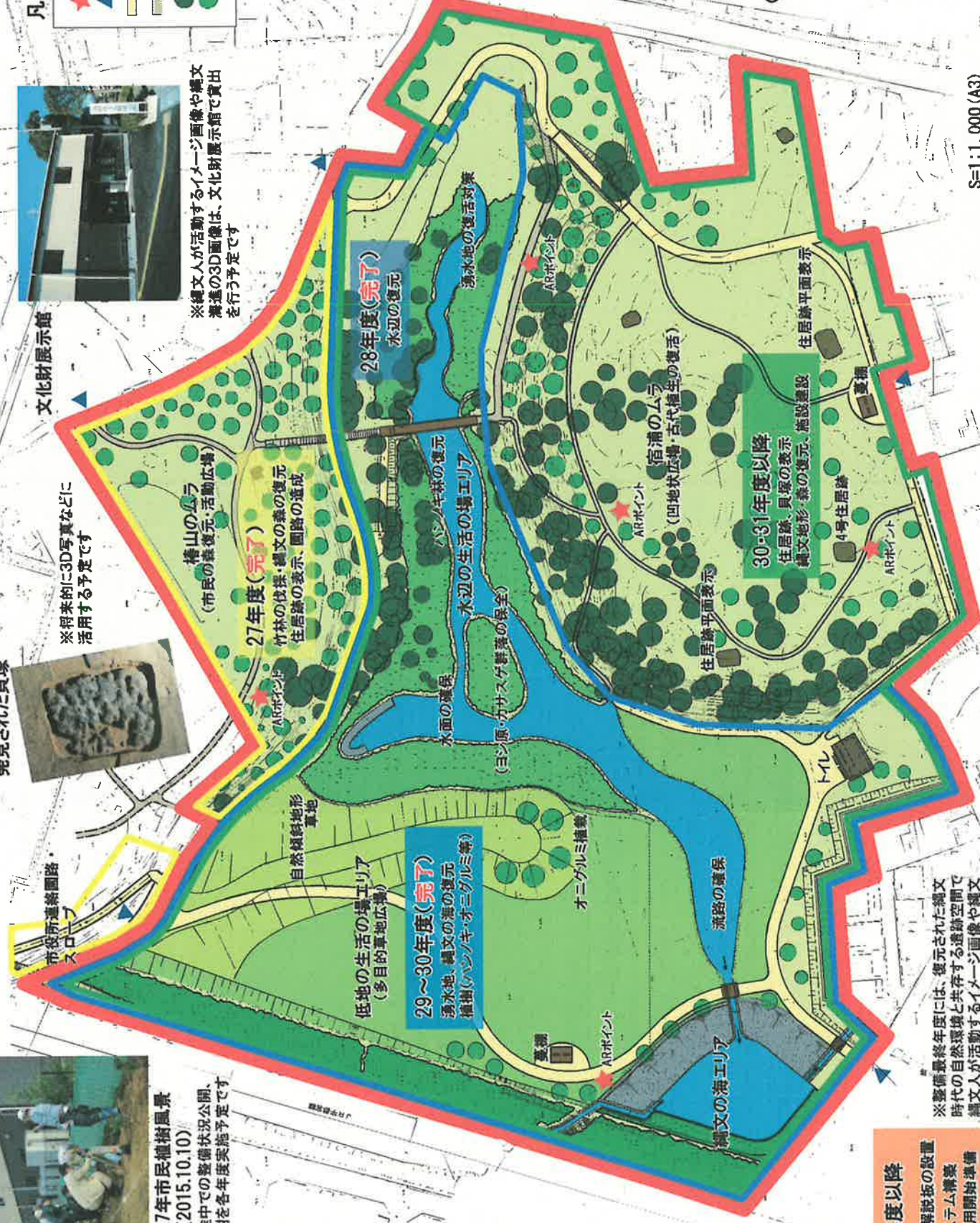
整備後の樽山のムラ
(落葉広葉樹の森への植栽変更)



S=1:1,000 (A3)

00m

平成31年3月作成



27年度(完了)
樽山のムラ
(市民の森復元・活動広場)
竹林の伐採・縄文の森の復元
住居跡の表示、园路の造成

28年度(完了)
水辺の復元
湧水池の復活対策

29~30年度(完了)
低地の生活の場エリア
(多目的草地広場)
湧水池、縄文の海の復元
植樹(ハンノキ・オニグルミ等)

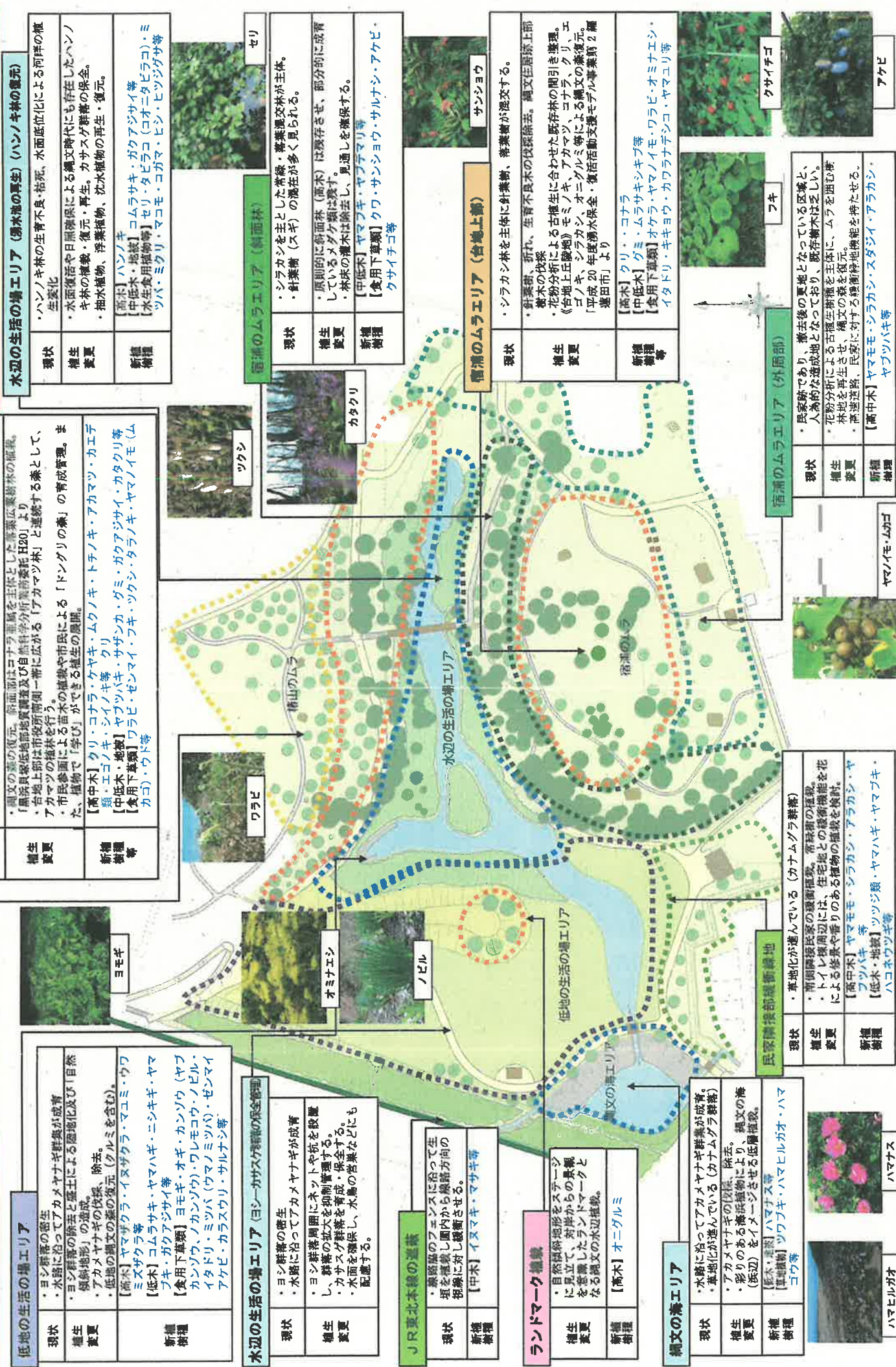
30・31年度以降
住居跡、貝塚の表示
縄文地形・森の復元、施設建設

31年度以降
案内・解説板の設置
ARシステム構築
全面供用開始準備
园路の造成

※整備最終年度には、復元された縄文時代の自然環境と共存する遊歩空間で縄文人が活動するイメージ画像や縄文海連の3D画像の整備を進めます

黒浜貝塚：縄文の森復元計画（案）

※土が落ち着き次第、計画的に各エリアに食用植物を植栽し、環境学習に役立てると共に、災害時の植物としても活用する予定です。



低地の生活の場エリア

現状
・ヨシ群落の復元
・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育

植生
・ヨシ群落の除去と盛土による陸地化及び「自然傾斜地形」の造成
・アカメヤナギの伐採、除去

新植
・低地の縄文の森の復元 (クヌギを含む)
【高木】 ヤマザクラ・イヌザクラ・マユミ・ウワミズクラ等
【低木】 コムラサキ・ヤマハギ・ニシキギ・ヤマブキ・ガクアジサイ等
【食用下草類】 ヨモギ・オギ・カンゾウ (ヤブカンゾウ・ノカンゾウ)・ワレモコウ・ノビル・イタドリ・ミツバ (ウマノミツバ)・ゼンマイ・アケビ・カラスアザリ・サルナシ等

水辺の生活の場エリア (ヨシ・カササギ群落の保全管理)

現状
・ヨシ群落の復元
・水路に沿ってアカメヤナギが成育

植生
・ヨシ群落の除去と盛土による陸地化及び「自然傾斜地形」の造成
・アカメヤナギの伐採、除去

新植
・低地の縄文の森の復元 (クヌギを含む)
【高木】 ヤマザクラ・イヌザクラ・マユミ・ウワミズクラ等
【低木】 コムラサキ・ヤマハギ・ニシキギ・ヤマブキ・ガクアジサイ等
【食用下草類】 ヨモギ・オギ・カンゾウ (ヤブカンゾウ・ノカンゾウ)・ワレモコウ・ノビル・イタドリ・ミツバ (ウマノミツバ)・ゼンマイ・アケビ・カラスアザリ・サルナシ等

JR東北線の遺構

現状
・高鉄道のフェンスに沿って生垣を築き、斜面から崩落方向の視線に対し緩衝させる。

新植
【中木】 イヌキ・マサキ等

ランドマーク植栽

現状
・自然傾斜地形をステーションに見立て、斜面からの崩落を抑制したランドマークとなる縄文の水辺植栽。

新植
【高木】 オニグルミ

縄文の海エリア

現状
・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育
・草刈りが進んでいる (カナムダ群集)

植生
・アカメヤナギの伐採、除去
・彩りのある海岸植物により、縄文の海 (浜辺) をイメージさせる低層植栽。

新植
【高木】 ハマナス等
【草花植物】 ツツバキ・ハマナシ・ハマハギ・ハコネツツバキ等

民家隣接部新緑地

現状
・草刈りが進んでいる (カナムダ群集)

植生
・民家隣接部の植栽
・トイレ周辺には、住宅地との緩衝機能を花による修景や香りのある植物の植栽を検討。

新植
【高木】 ヤマモモ・シラカシ・アラカシ・ヤブツバキ等
【低木・地盤】 ツツジ類・ヤマハギ・ヤマブキ・ハコネツツバキ等

楢山のムラエリア (斜面林含む)

現状
・モウソウク竹林が繁茂し、南側斜面にはクスギ、エノキを主とした落葉樹林が成育。

植生
・縄文の森の復元。斜面部はコナラ重層を主体とした落葉広葉樹林の植栽。
【風流自家低地植栽管理区及び自然科学分析調査区 H90】 よりアカマツの植栽を行う。

新植
・市民参画による苗木の植栽や市民による「ドングリの森」の育成管理。また、植物で「学び」ができる植生の展開。
【高木】 クリ・コナラ・ケヤキ・ムクノキ・トチノキ・アカマツ・カエデ
【中木】 シ・シノキ等
【食用下草類】 ヤブツバキ・サザンカ・グミ・ガクアジサイ・カタクリ等
【食用下草類】 フラビ・センマイ・フキ・ツクシ・タラノキ・ヤマノイモ (ムカゴ)・ウド等

水辺の生活の場エリア (湧水池の再生) (ハンノキ林の復元)

現状
・ハンノキ林の生育不良、枯死、水面底位化による河川の植生変化

植生
・水面復活や日照確保による縄文時代にも存在したハンノキ林の植栽・復元、再生。カササギ群落の保全、抽水植物、浮葉植物、沈水植物の再生・復元。

新植
【高木】 ハンノキ
【中低木・地盤】 コムラサキ・ガクアジサイ等
【水生食用植物等】 セリ・タピラコ (コオニタピラコ)・ミヅバ・ミクリ・マコモ・コガマ・ヒシ・ヒツジグサ等

宿浦のムラエリア (斜面林)

現状
・シラカシを主とした常緑・落葉混交林が主体。
・針葉樹 (スギ) の混在が多く見られる。

植生
・原則的に斜面林 (高木) は残存させ、部分的に成育しているメダケ類は除去し、見通しを確保する。

新植
【中低木】 ヤマブキ・ヤブデマリ等
【食用下草類】 クワ・サンショウ・サルナシ・アケビ・クサイチゴ等

宿浦のムラエリア (台地上部)

現状
・シラカシ林を主体に針葉樹、落葉樹が混交する。
・針葉樹、折れ、生育不良木の伐採除去。縄文住居跡上部樹木の伐採
・花粉分析による古植生に合わせた既存林の間引き整理。
【台地上部植栽】 セリ・タピラコ (コオニタピラコ)・エノキ・シラカシ、オニグルミ等による縄文の森復元。
【平成20年度湧水保全・復活活動支援モデル事業第2編 蓮田町】 より

植生
・高木】 クリ・コナラ
【中低木】 グミ・ムラサキシキブ等
【食用下草類】 オケラ・ヤマノイモ・ワラビ・オミナエン・イタドリ・キキョウ・カワラナデシコ・ヤマユリ等

宿浦のムラエリア (外部部)

現状
・民家跡であり、撤去後の更地となっている区域と、人為的な造成地となっており、既存樹木は乏しい。
・花粉分析による古植生を主体に、ムラを囲む樹林地を再生させ、縄文の森を復元。
・湧水道路、民家に対する緩衝機能を持たせる。

植生
【高木】 ヤマモモ・シラカシ・スダジイ・アラカシ・ヤブツバキ等

宿浦のムラエリア (外部部)

現状
・民家跡であり、撤去後の更地となっている区域と、人為的な造成地となっており、既存樹木は乏しい。
・花粉分析による古植生を主体に、ムラを囲む樹林地を再生させ、縄文の森を復元。
・湧水道路、民家に対する緩衝機能を持たせる。

植生
【高木】 ヤマモモ・シラカシ・スダジイ・アラカシ・ヤブツバキ等

※本整備計画は、平成31年度完成を目指していますが、あくまでも計画であり変更されることもあります。 ※本図は、「黒浜貝塚整備基本構想」を基本に作成した計画（案）となります。

16. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要

文化活動の拠点施設となる、蓮田市総合文化会館ハストピアは、平成28年10月15日に開館し、多くの方々にご利用いただいています。

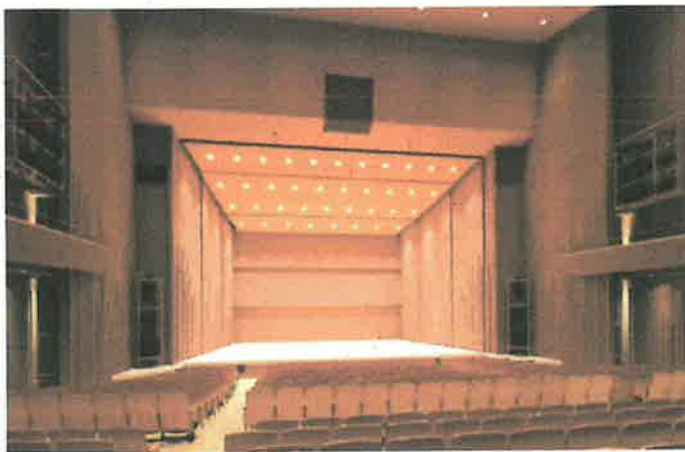
【ハストピア外観写真】



【ホール写真（客席）】



【ホール写真（舞台・反響板有り）】



●ハストピア事業

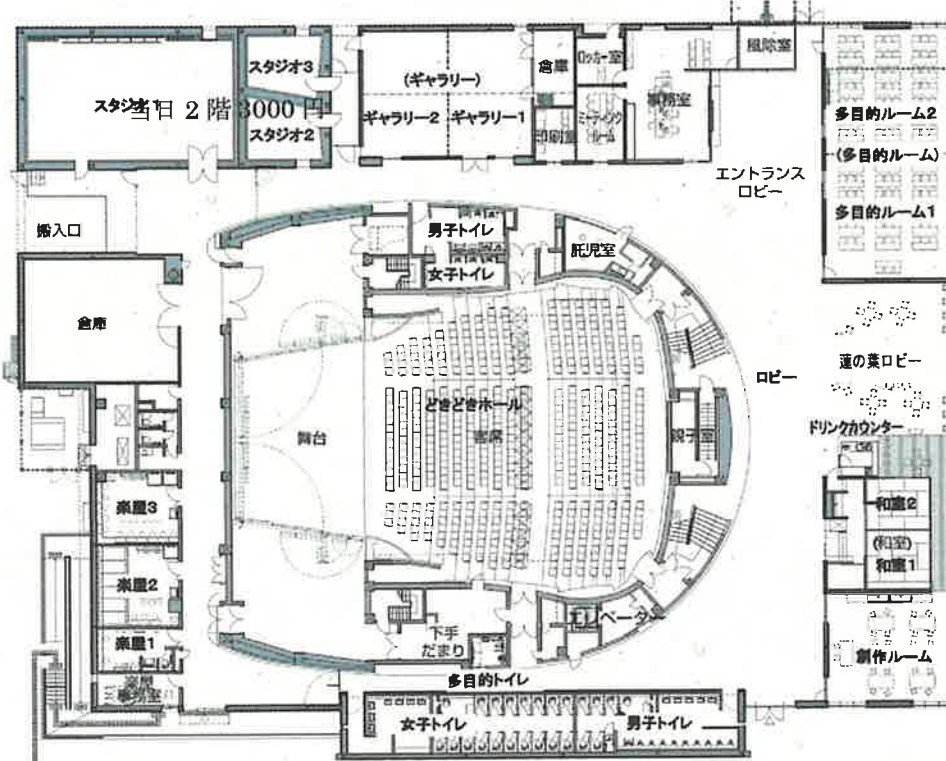


報告「第2回ハストピアアートプロジェクト」大盛況！
“どきどきアート空間2020”2020年1月25日(土)・26日(日)



はずとぴあ通信 Vol.11 より

【1階平面図】



【建築概要】

建築面積	3216.58 m ²
延床面積	4149.02 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 3階建て
ホール	634席 1階 513席、車いす席2席(最大18席) 2階 119席(ベンチ式)
諸室	多目的ルーム、和室、ギャラリー、創作ルーム、スタジオ3室、楽屋3室

17. 街路灯LED化について

市が管理している街路灯5,945基のうちLED照明になっているものは、5,452基^{※1}でLED化率は91.7パーセントとなっております。LEDは省電力・長寿命であることから、街路灯をLED化することにより、電気料金及び球切れによる修繕料などの維持管理費が大幅に削減できるものです。また、併せて二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

平成29年度には、4,883基をリース方式によるLED照明に切り替えました。平成30年2月に交換工事が完了し、3月から10年間のリース方式による維持管理を開始しています。

今後におきましても、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

《リース方式による街路灯LED化の概要》

●設置数 4,883基

●LED街路灯借上料 令和2年度予算 7,862千円

リース期間 10年間 平成30年3月1日から令和10年2月29日まで

リース期間満了後、市へ無償譲渡

契約金額 79,257千円



蛍光灯



LED

《LED設置実績》

年度	市施工による新規設置数	リース方式による設置数
平成28年度まで	429基	0基
平成29年度	24基	4,883基
平成30年度	44基	0基
令和元年度	43基	0基

※1 街路灯の数には、移管や寄付による29基のLED照明の街路灯が含まれていません。

18. 在宅医療・在宅介護事業の推進

蓮田市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、直近の令和2年4月1日現在で31.8%。

これからも進んでいく超高齢社会を支え、いつまでも住み慣れた地域で暮らせる仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。平成24年度に国立病院機構東埼玉病院が推進した国のモデル事業からスタートし、蓮田市では平成26年4月に、在宅医療介護課を新設し、先行的に取り組むを進めてきました。平成28年度からは近隣の白岡市、宮代町との協定により2市1町で地域の医療や介護の資源を活かす体制を整えてきました。

さらに、平成30年4月からは新たに、国立病院機構東埼玉病院内に「在宅医療サポートセンター」を設置し、市民の皆様や地域の医療・介護関係者のかたからの専門的な相談に対応しています。今後、ますます医療と介護が連携して市民の在宅生活を支えていけるよう推進してまいります。

市内の地区別高齢化率

市内の高齢化率を地区別にみると大きな差があり、特徴が分かります。

第1位：本町	53.1%
第2位：桜台	49.3%
第3位：椿山	47.5%
：	
：	
最下位：山ノ内	7.4%

（蓮田市全体：31.7%）

【資料】

蓮田市町(丁)字別年齢別人口表
R2.1.1 現在

《取組の主な内容》

◆医療や介護の専門職を支援します。

市民のかたが、安心して医療や介護のサービスが受けられるよう、医師や看護師などの医療職とケアマネジャーやヘルパーなどの介護職の連携を図る会議や研修会を開催しています。

また、市内の医療・介護資源についてのデータをまとめた『在宅医療連携ガイド』を毎年更新し、3月に公表しています。

◎グループワークで連携を深めます。



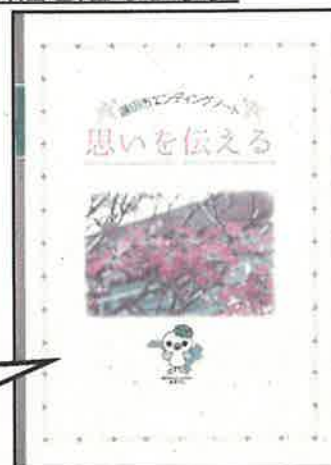
◎「訪問診療してくれる医療機関は？」「24時間対応してくれる訪問看護ステーションは？」などの情報をまとめ、専門職の方に配布しています。また、ホームページにも掲載しています。

◆在宅医療や介護について市民のかたの理解が深まるような取組を進めます。

在宅医療・介護についての「出前講座」を自治会や地域のグループ等10人以上の団体に向けて行っています。

また、令和元年度に作成した蓮田市オリジナルのエンディングノート「思いを伝える」は、高齢期の生活における意思決定について支援するために説明を加えながら配布します。説明会を9月から毎月1回公共施設において開催するほか、出前講座の依頼を受け、配布を行う予定です。

◎このノートは、告知や延命治療の希望、財産のことなど解説を見ながら整理できます。意思決定が難しくなった時に備え、家族や大切な人と話し合うきっかけとしてご活用いただくことを願っています。



19. 山ノ神沼周辺について

山ノ神沼東側については平成21年度をもって整備が完了しており、市は自然環境の保全の観点から、用地取得のため、地権者との交渉を継続しており、令和2年5月現在、個人所有地についての不動産鑑定を行い、その鑑定結果をもとに用地取得に向けた交渉に当たっております。

一方で、長年にわたり山ノ神沼の水質浄化などの環境改善に取り組んでいた「山ノ神沼を守る会」が、令和2年度をもって解散となりました。

20. 黒浜沼周辺の整備について

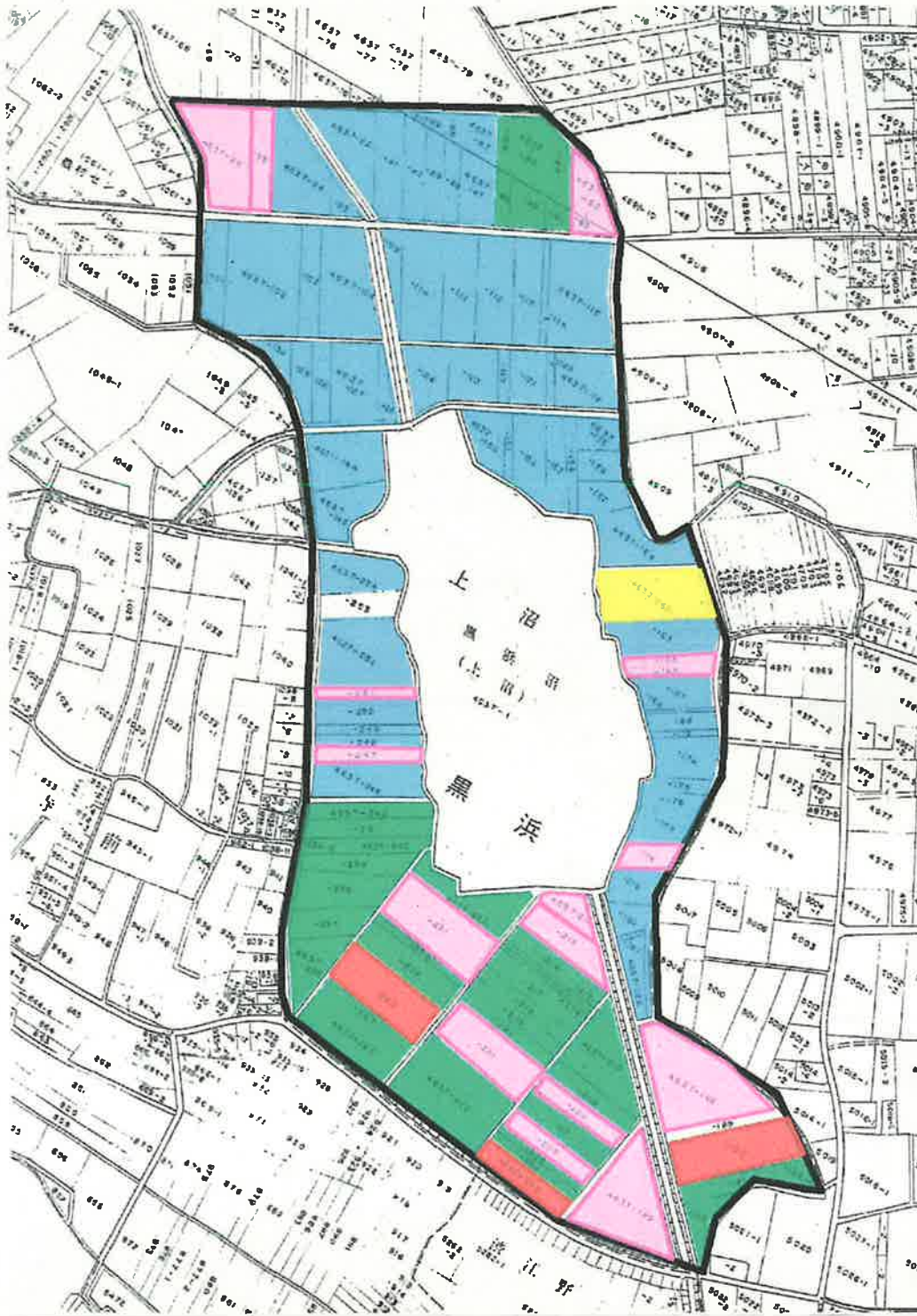
平成21年度に緑のトラスト保全第11号地として指定がなされ、トラスト保全地エリア内87,606㎡のうち、71,589㎡(81.7%・埼玉県と蓮田市の合計)の取得が済みであります。令和元年度に、残っていた16,017㎡のうち15,124㎡について、地権者との土地売買契約を行い、所有権移転登記が完了いたしました。これにより、未買収地は残り2筆、893㎡となりました。

現地では公益社団法人さいたま緑のトラスト協会や特定非営利活動法人黒浜沼周辺の自然を大切にする会などの関係団体による保全管理が行われており、沼の南側では、黒浜沼周辺地権者会と協力し、田園風景を維持するため稲作が行われております。

平成20年頃よりミシシippアカミミガメの大量発生、平成25年頃よりハスの消失など、自然環境の悪化(ヘドロの堆積、特定外来生物の発生等)が進んできており、他にも、乾燥化による動植物の生態系の変化なども見られております。

今後は、数々の問題への対応策を関係団体と協議し、市も積極的に現場管理や情報発信に努めることにより、地元住民の方だけでなく、遠方より訪れる方々が快適に利用できるよう、環境改善と施設整備に努めてまいりたいと思います。

緑のトラスト保全第11号地 買収地



 青	平成21年度 埼玉県取得地 44,687㎡
 緑	平成21年度 蓮田市取得地 21,599㎡
 赤	平成22年度 蓮田市取得地 3,744㎡
 黄	平成27年度 蓮田市取得地 1,559㎡
 桃	令和元年度 蓮田市取得地 15,124㎡
 白	令和2年度時点で未買収の土地 893㎡

21. 環境学習館Ⅱ期工事について

昭和49年に地域交流施設の黒浜農村センター（鉄骨造2階建て、396㎡）を開設しました。環境の保全に関する活動を支援するとともに、環境学習及び情報の発信の拠点とし、地域に根ざした新しいコミュニティ形成を促進するため、平成16年に環境学習館として新たにオープンしました。その後、平成25年に実施された耐震診断において耐震性が著しく低い事が分かったため取り壊し、平成26年に現在の環境学習館が誕生しました。

現在の環境学習館（軽量鉄骨造平屋建て134.27㎡）は、平成20年に指定された埼玉県緑のトラスト11号地も近いので、市内だけでなく県内各地から人が訪れております。今後、益々活用が期待されておりますが、建物内に研修室兼会議室が1部屋しか無く、十分にその機能を発揮出来ておりません。そのため、周辺用地を買収して敷地を拡張し、コミュニティ施設の要素を兼ね備えた複合施設とした環境学習館の建設を計画しました。現在、拡張部分の敷地の用地買収を行っており、令和元年度には、敷地拡張部分の一部、2筆の用地買収が完了いたしました。現在、残りの拡張予定地の関係法令上の手続きを進めており、令和2年度中の用地買収を目指しております。

新たな環境学習館は、黒浜沼をはじめとする市内に生息している生きものや生態系が学習できるほか、市の自然環境や環境問題などについても学ぶことができるようにします。また「ふれあいの場」として地域の人々や各種団体が身近に、手軽に、そして多目的に利用できる地域コミュニティづくりの場とします。加えて、地域の人々の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、各種教養講座、趣味講座、実用講座、イベントなどを開催できるような施設内容を考えております。



22. はなみずき作業所新築計画

昭和54年度に建築した施設は老朽化しており、利用者の安全性も考慮して施設を建て替える予定です。平成30年12月に、借地として使用しておりました施設敷地（2,059.37㎡）を、所有者から購入しました。

施設規模は現在利用している施設をベースに、複合施設としての機能も含めて検討するため、令和2年2月に基本計画の策定に着手し、令和2年6月に敷地内のボーリング調査を実施しました。

23. 上野東京ラインの開業について

平成27年3月14日のダイヤ改正に伴い、JR宇都宮線の始発電車が5時50分から7分早まり、5時43分になりました。同時に、東海道線直通の上野東京ラインが開業し、熱海方面まで、相互直通運転が開始されました。

また、平成28年3月26日のダイヤ改正では、湘南新宿ライン下り最終電車（高崎線乗り入れ）の大宮駅到着を2分早め、宇都宮線下り最終電車の大宮駅出発を2分遅らせることにより、大宮駅での乗り換えが可能になりました。

引き続き宇都宮線の運行時間の拡大等、利便性の向上に取り組んでまいります。



24. 蓮田市の財政状況

● 人口

	平成20年4月1日現在	平成25年4月1日現在	令和2年4月1日現在
計	64,028 人	63,321 人	61,616 人
14歳以下	8,015 人 (12.5%)	7,601 人 (12.0%)	6,865 人 (11.2%)
15歳～64歳	42,876 人 (67.0%)	39,282 人 (62.0%)	35,139 人 (57.0%)
65歳以上	13,137 人 (20.5%)	16,438 人 (26.0%)	19,612 人 (31.8%)

● 財政（一般会計歳入歳出決算額の主なもの）

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入総額	18,394,655	18,861,732	20,876,267	18,360,236	20,248,639	19,295,438
市税 （個人市民税）	8,019,205 (3,696,298)	8,066,685 (3,693,830)	8,006,544 (3,653,588)	8,061,976 (3,709,244)	8,296,958 (3,738,777)	8,155,943 (3,714,767)
地方譲与税	151,456	144,997	151,881	150,559	150,100	151,255
地方交付税	2,256,163	2,190,723	2,285,308	2,284,902	2,266,017	2,241,127
市債 （臨時財政対策債）	1,963,889 (1,211,489)	1,631,075 (1,128,575)	1,982,706 (1,004,206)	1,002,629 (855,729)	1,049,933 (935,233)	997,782 (891,782)
人件費	3,578,646	3,690,308	3,632,719	3,595,619	3,713,553	3,739,171
扶助費	3,380,103	3,686,407	3,859,256	4,153,587	4,004,165	4,087,165
補助費等	1,196,797	1,327,339	1,328,807	1,268,070	1,307,264	1,382,414
公債費	1,566,633	1,587,038	1,492,176	1,548,084	1,563,801	1,540,027
繰出金	2,286,600	2,286,677	2,412,581	2,502,461	4,199,246	2,954,165
普通建設事業費	2,253,445	2,648,895	4,053,587	1,404,852	1,239,756	1,616,890

● 財政指標（普通会計決算）

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財政力指数	0.773	0.769	0.772	0.771	0.771	0.774
経常収支比率	84.3%	87.2%	84.6%	87.9%	87.7%	90.2%
人件費比率	21.1%	20.7%	18.4%	20.7%	19.6%	20.4%
実質公債費比率	7.5%	6.4%	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%
将来負担比率	20.5%	16.4%	26.7%	15.8%	4.5%	-
地方債現在高(千円)	15,300,203	15,496,895	16,115,026	15,676,196	15,246,049	14,772,325

※平成30年度将来負担比率…充当可能額が将来負担額よりも多いため算定されず、「-」と表示しています。

● 基金残高

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財政調整基金	1,478,049	1,474,530	1,360,602	1,408,593	1,663,757	1,863,821
公共施設等整備基金	1,451,574	1,632,506	973,565	1,393,756	1,623,820	1,295,984

● 特別会計（歳入決算額）

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
国民健康保険	7,866,095	7,939,183	8,740,900	8,709,915	8,789,881	7,151,575
後期高齢者医療	668,830	704,872	737,882	785,806	854,215	888,494
介護保険	3,720,677	3,893,355	4,215,557	4,533,064	4,797,117	4,949,302
下水道事業	1,280,614	1,271,009	1,352,142	1,324,341	1,299,781	1,380,924
農業集落排水事業	173,657	176,555	176,006	203,460	196,636	207,904
馬込下蓮田土地 区画整理事業	71,672	74,434	79,151	71,557	55,940	
黒浜土地 区画整理事業	214,589	227,533	240,074	199,942	238,972	25,088
蓮田駅西口第一種 市街地再開発事業	143,110	150,223	156,399	142,403	1,773,562	564,354
合計	14,139,244	14,437,164	15,698,111	15,970,488	18,006,104	15,167,641

● 公営企業（水道事業）

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収益的収入	1,132,863	1,176,639	1,207,362	1,186,953	1,251,395	1,326,742
収益的支出	1,104,667	1,119,852	1,156,422	1,113,942	1,118,330	1,152,005
資本的収入	143,131	85,696	77,379	139,038	81,282	231,598
資本的支出	366,518	302,403	264,065	433,434	338,598	475,261

【参考】財政指標の解説

財政力指数	財政基盤の強さを示す指標。 標準的な行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示し、この数値が「1」に近く、あるいは「1」を超えるほど財源に余裕があることになる。
経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する指標。 人件費、物件費、公債費等の経常的経費に、市税、地方交付税など経常的収入の一般財源がどの程度充当されているかを示し、この数値が低いほど財政構造に弾力性があることになる。
人件費比率	歳出総額中に占める人件費の割合を示す指標。 この数値が低いほど財政運営に弾力性があることになる。
実質公債費比率	実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標。 地方税、普通交付税のように用途が特定されていない経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合。この数値が低いほど、財政構造の弾力性があることになる。
将来負担比率	市債や退職手当など将来払わなければならない金額が、市の財政規模に対してどの程度のものかを表す指標。 比率が低いほど財政状況が健全なことになる。